

安全作業をするため

ここに記載されている注意項目を守らないと、



燃料漏れにご注意

燃料パイプが破損していると燃料漏れを起こしますので必ず点検してください。

【守らないと】

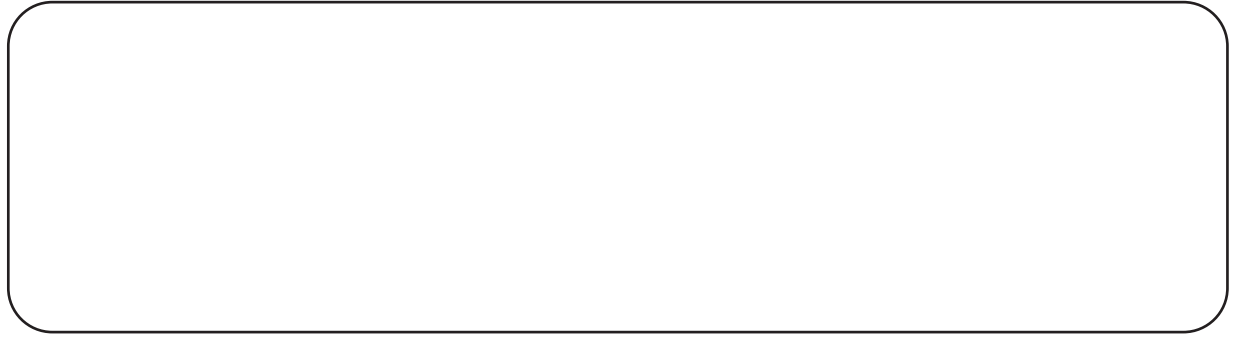
火災を起こす恐れがあります。

2) 火起こし防止のため

点検はマフラやエンジンの高温部が冷めてからに。

5) 作業前

安全に作業をするために



モア[®]の排出口には人を近づけないこと

草やほこりが飛び出します。石などが飛びだすことがあります。

【守らないと】

傷害事故を引き起こす恐れがあります。

各部【なまえ】

本機



モア



(2) ハンドル

ハンドルの長さおよび角度の調節ができます。

1. 長さ調節

ノブ を左に回すと長さが自由に調節できます。位置が決まったら、ノブを右に回し固定してください。

2. 角度調節

レバー を上げるとハンドルの角度を自由に調節できます。位置が決まったらレバーを下げ固定してください。

乗り降りの際はこの機構を使用し、一番前の位置にすると便利です。

(8) ウェイト・トランスファ・コントロール（右手操作）

モアのゲージホイールの接地荷重を軽減し、ゲージホイールで芝を傷めるのを防止します。
〔+〕の方向にノブを回すとゲージホイールの接地荷重が少なくなります。

1. 作業前の点検



燃料箱
対に
エン
対に
燃米
に
く
燃
こ
ま

マタバコや裸火照明は絶
対に禁止、絶

点検・整備の修理をするときは、必ずエンジンを停止してください。守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故をおこすおそれがあります。

点検・整備をするときは、マフラーやエンジン排気口の熱部分が十分に冷めてから行なわないと、ヤケドを負うおそれがあります。

かナ

--	--	--

F キースイッチを抜き取り、車両以外の場所に保管してください。

【取扱いの注意】

バッテリーは、使わなくても自然放電します。
1ヶ月に1度は充電器で完全充電してください。

2. リフトアームとモアの取付け

- A モアをリフトアームの下になるようにモアを手で押し込みます。
- B モアのリフトアームを取付ける場所と、本機に取付けたリフトアームの先端が一直線になるようにモアを左右芯筆にぶすよジブピン押固定込す。

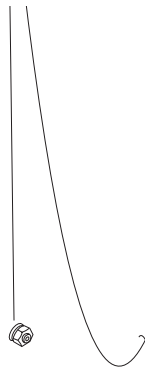
させるおそれがあります。

作業時はPTOカバーを下げた状態で使用してください。

4. リヤリフトロッドの調節

- A モアのリヤリフトロッドロックピンを引き、リヤリフトロッドを取付けます。
- B リヤリフトロッドをスナップピンで固定します。
- C

- A エンジンを始動させ、本機側のリフトコントロールレバーを後方に引いて作業機を上昇させます。
- B エンジンを停止させ、駐車ブレーキをかけます。
- C フロントゲージホイールとリヤゲージホイールのピンを抜き、希望する刈高さを前ページの表により決め、フロントゲージホイールとリヤゲージホイールを所定の位置にして固定します。



2. リヤリフトロッドの調節

- A エンジンは停止したままで、本機のリフトコントロールレバーを前方に倒して作業機を下げます。
- B リヤリフトロッドのスナップピンを入れる穴は、上から下に向かい120mm、35mm、

点検

ボンネットを開け、リザーブタンク内の水が
「上限」から「下限」の範囲にあるか調べてくだ

--	--	--

〔水平に戻すとき〕

A

4. 電装関係

状 況

本機

・エンジン関係

部品コード	燃料ポンプ・インジェクタ・エンジン関係	備考
020		C30考、0386041 090

作業灯

クルーズコントロール

ペダルを踏み続けなくても一定速度走行が可能でウ 毘

